滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和6年 第1週(1/1~1/7)【COVID-19情報】

令和6(2024)年 1月11日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点あたりの報告数は 7.00 で、前週(5.08) と比べて増加しています。
- 10 歳未満および 20 歳代から 70 歳代の各年代で増加傾向が見られます。
- ・全保健所で前週と比べて増加しています。特に大津市、甲賀、高島保健所圏域で多く報告されています。

2. COVID-19 の定点当たり報告数(全国は前週)の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。(COVID-19の例:1週間の報告数 $200 \div 60 = 3.33$)

			滋賀県		保健所別							
定点区分 (定点数)	疾病名	2週前	1週前	今週	大津市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長浜	高島	全国(前週)
COVID-19 (定点数:60 [※])	COVID-19	3.58	5.08	7.00	9.92	4.67	9.14	4.20	6.14	6.86	10.33	5.79
基幹 (定点数:7)	COVID-19入院	4.71	6.29	5.71	5.00	14.00	5.00	2.00	5.00	7.00	2.00	4.07

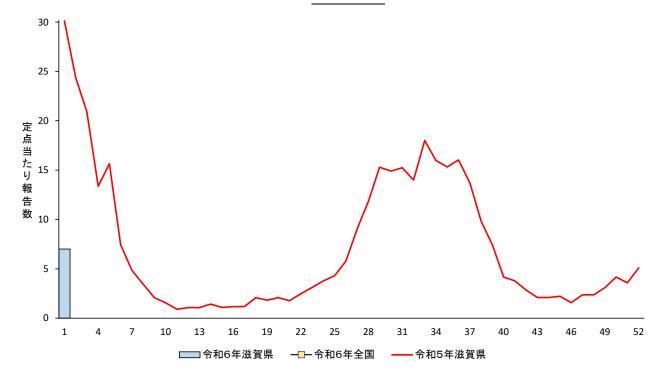
※第1週(今週)の COVID-19 定点数は、滋賀県 59 医療機関となっています。

3. COVID-19 の年齢階級別報告数(滋賀県、今週)

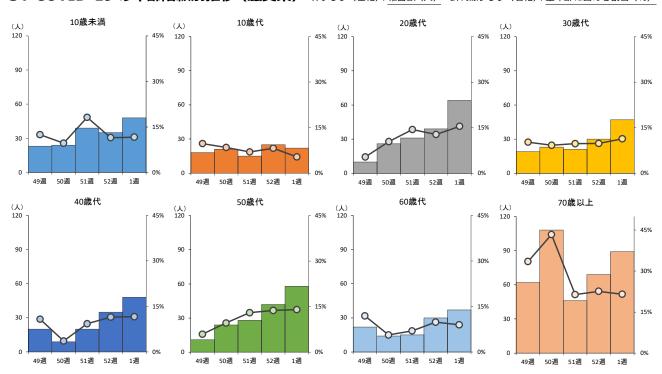
「-」: 報告なし

COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
COVID-19 (59医療機関)	413	6	7	15	2	3	1	3	1	3	4	3	12	10	64	47	48	58	37	40	49
大津市保健所 (13医療機関)	129	1	2	1	_	-	-	1	-	1	1	-	6	3	27	18	16	17	13	11	11
草津保健所 (12医療機関)	56	-	2	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	4	5	9	6	13	11
甲賀保健所 (7医療機関)	64	1	1	4	1	-	1	-	-	-	2	1	2	3	10	4	10	10	5	5	4
東近江保健所 (10医療機関)	42	2	2	4	-	2	-	1	-	1	-	1	1	2	4	7	4	4	3	2	2
彦根保健所 (7医療機関)	43	_	_	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	8	4	6	6	4	3	9
長浜保健所 (7医療機関)	48	1	_	4	_	-	_	1	-	1	-	1	3	-	7	6	2	3	4	5	10
高島保健所 (3医療機関)	31	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	4	5	9	2	1	2
COVID-19入院 (7医療機関)	40	1	_	_	_	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	1	3	5	9	21

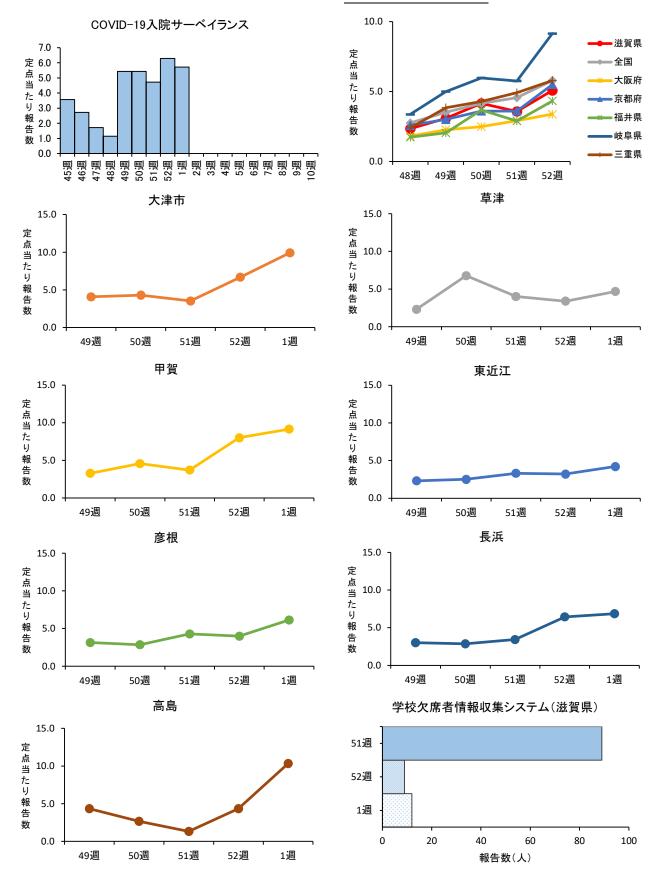
4. 滋賀県と全国の COVID-19 の発生動向(全国は前週まで掲載)



5. COVID-19 の年齢階級別推移(滋賀県) 棒グラフ (左軸): 報告数 (人) 折れ線グラフ (右軸): 全年齢に占める割合 (%)



6. COVID-19 の発生動向・保健所別推移等(全国・他府県は前週まで掲載)



1)県内の入院状況

入院者数	うち重症者数
133	0

1/9更新データを掲載しています。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、 通常の医療提供体制へ段階的に移行していきます。

重症: ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式模型人工肺)が必要な方

2)クラスターの発生状況について

介護関連事業所	障害福祉関連施設	医療機関
1	0	0

1/1~1/7に県で確認したクラスターを掲載しています。 保健所への相談、イベントベースサーベイランスでの検査等で、 同一施設で5名以上の陽性者が確認された事例をクラスターと して報告しています。

3)検査数

検査数	6,084件
-----	--------

1/1~1/7に県で確認した検査数を掲載しています。

4)県内の外来対応医療機関のひつ迫状況について

県内の状況

11.1%

1/1~1/7までに「ひっ迫している」と報告した医療機関の割合を算出しています。 ※医療機関等情報支援システム(G-MIS)により集計

5)救急搬送困難事案

発生件数

6月26日~7月2日

0件

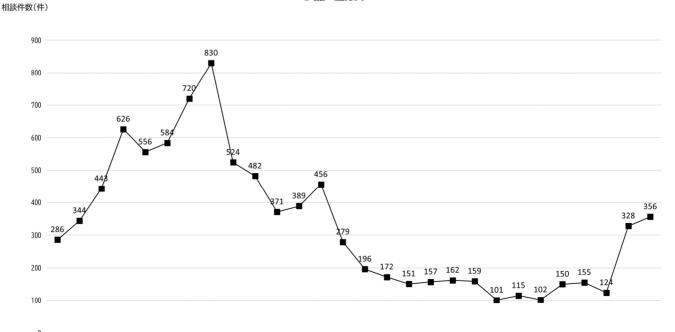
1/1~1/7における大津市消防局からの報告数を掲載しています。

相談体制について

健康危機管理課

相談件数(週計)

-■-受診・相談センター



18日~9月3日

0月9日~10月1

0月30日~

月20日~

変異株にかかるゲノム解析状況について

- ●世界的にはEG.5系統が36.3%(減少傾向)、JN.1系統が27.1%(増加傾向)、BA.2.86系統(JN.1系統を除く)が5.9%(横ばい傾向)を占めている。(WHO COVID-19 Epidemiological Update Edition 162 published 22 December 2023)
- ●全国的にもEG.5系統は減少傾向(EG.5系統の一種であるHK.3系統は横ばい傾向)である。 JN.1系統およびBA.2.86系統(JN.1系統を除く)は増加傾向であり、滋賀県では両系統ともに令和5年11月に初めて検出された。
- ●滋賀県では、令和5年12月時点ではXBB系統が全体の44.0%(うち EG.5系統(HK.3系統を含む)は36.0%、その他XBB系統は8.0%)を占めており、流行株のうちの主系統となっている。また、BA.2.86系統が全体の28.0%(うち JN.1系統は24.0%、BA.2.86系統(JN.1系統を除く)は4.0%)を占めており、流行株のうちの第二系統となっている。
- ●EG.5系統は、以前の主流株のXBB.1.5系統よりも拡がりやすく免疫を逃れる性質が強いが、重症度はXBB.1.5系統と比べて明確な違いはないと示された。(令和5年9月12日東京大学医科学研究所、WHO EG.5 Updated Risk Evaluation,21 September 2023)
- ●世界中で急速に拡大しているJN.1系統はEG.5系統(HK.3系統を含む)や先祖株であるBA.2.86系統よりも拡がりやすい可能性があることが報告された。また、免疫を逃れる性質は、EG.5系統の一種であるHK.3系統やBA.2.86系統より強く、ワクチン接種による免疫から逃れる性質はBA.2.86系統より強いことが示された。(令和6年1月5日東京大学医科学研究所)



